

事務事業評価シート(平成21年度)

(ソフト事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		生涯学習課	安田一司	宮田真里衣
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
体育指導委員会事業		新規	年度	年度
		○ 継続	○ H20以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 2 学ぼう、活かそう	
	個別計画	(基本計画) 生涯スポーツの充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
多可町体育指導委員会規則		○ ソフト事業		
		施設の維持管理		
		義務的事業		
		内部管理事務		
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		
住民のスポーツ振興の指導と助言を行う。		計画などの策定		
		補助金の支給		有○無
		委託	○ 全部委託	一部委託
		委託なし(全部直営)		

2 事務事業の目的 <Plan②>

対象 (働きかける相手・誰が・もの)	受益者 (誰を・何を)	意図 (どういう状態にしたいのか)
体育指導委員	各種団体、学校、町民	スポーツの指導及び助言

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>

会計名					一般					会計				
細目名					細目名					細目名				
予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業	予算 コード	款	項	目	大事業
10		7	10	1										

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>

事務事業・人員		単位	20年度 決算(見込)	21年度 予定(当初)	22年度 計画	備考 (全体事業費など)
総コスト			4,940	5,782	5,460	
コスト の内訳	直接事業費	千円	612	1,309	1,528	
	所属内間接費					
	人件費		4,328	4,473	3,932	
財源 内訳	投入人員	人/年	0.60	0.65	0.65	
	正職員					
	嘱託員					
	国・県支出金					
財源 内訳	地方債	千円				
	その他特定財源					
	一般財源		4,940	5,782	5,460	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>

事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	22年度 実績	21年度 予定	22年度 目標
1	体育指導委員会	委員会の開催	会議数	回	10	10	10
2	体育指導員活動	大会の開催運営	活動回数	回	25	30	30
3	アスパル体操の普及活動	大会での指導	活動回数	回	5	10	10
4							
5							

(ソフト事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [体育指導委員会事業]			
成果指標(意図の数値化)	単位	20年度 実績	21年度 予定(見込)	22 年度 目標	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
体育指導委員会	回	10	12	12	指導及び助言
体育指導員活動	回	25	30	30	

7 事務事業の事後評価 <Check>				(ソフト事業)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
必要性	需要への 対応性	住民ニーズは	○ 高い	高くない		把握なし			
		緊急性は	○ 高い	高くない					
		利用者・対象者数は		増加	減少	○ 横ばい			
		他市町と比較して対象者に見直しの余地は		ない	○ ある	把握なし			
	町の関与 の必要性	民間の事業(サービス)との競合は	○ ない	ある					
国や県の事業(サービス)との重複は		○ ない	ある						
妥当性	サービス 水準の 妥当性	事業開始時から社会環境の変化は		ない	○ ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	○ ない	ある					
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	○ ない	ある		把握なし			
	連携の 可能性	他課で類似の事業は	○ ない	ある					
		他の事業と統合できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○ ない	ある		あるが困難			
		市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は		ない	○ ある			あるが困難	
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	○ ない	ある					
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	ある					
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	○ ない	ある					
		受益者負担を見直す余地は	○ ない	ある					
有効性	目標の 達成度	成果指標が明らかで	○ ある	ない					
		前年より成果が上がって	○ いる	いない		横ばい			
	持続の 可能性	継続することによる効果は	○ 高い	高くない					
		世代間負担の公平性、社会的平等性が保たれて	○ いる	いない		測定困難			
		事業の休・廃止による住民への影響は	○ 大きい	大きくない					
市場化の 可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○ 委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある			○ 市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性			1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある		
			3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 体育指導委員会事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 体育指導員会の活動がますます高まる中で、指導員の育成及び住民への普及活動を図らなければならない。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 今後は、住民の健康志向、生涯スポーツの高まりの中で体育指導員の役割が必要となる。 住民の健康志向の高まりとともに、スポーツDAYの実施により、体育指導委員の育成への期待が高まるだろう。									
所管評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 内容をより充実させ、多くの住民が参画できるものにする。									
事業評価		1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続	○	3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
新事業(スポーツDAY)の住民への浸透を望む。									